

http://www.minamih.net/



12・10・20(土)
南NEWS NO42

八王子スポーツパーク建設促進の要望書署名について
用紙はお配りしますが、南八王子サッカークラブとしては、署名するかしないかの判断はそれぞれのご家庭の判断にお任せします。

矢上は28歳で由井三小の教師となり、サッカークラブも創り、八王子在住38年目を迎えています。

八王子のサッカーを大切に想う気持ちは強いものがあります。立派なサッカー場ができて、八王子にJのチームができたという夢もあります。八王子サッカー協会の皆さんの夢に大いに共感・応援しています。

一方、教師2年目から授業で取り組んできたテーマに「環境」があります。今も南の子どもたちと寺子屋で学習しています。いくつかの市内や市外の学校でゲストティチャーとして「環境」の授業をしています。

毎年、世界では九州2個分の森林破壊が進んでいて、1年間で約4万種類もの生物が絶滅しているそうです。13分に1種類です。ニホンカワウソの絶滅宣言が出されたのもつい最近です。このままいくと1400年後には全生物が絶滅すると言われています。

23ページにもなる八王子スポーツパーク・事業計画概要書を3回読ませていただきました。

“ビオトープを造るのもいいね！でも、オオタカ・ムササビ・シオヤトンボ・ホトケドジョウ・サワガニたち・その他のたくさんの生き物、伐採した木々はどうなるのだろう。地域の活性化・過疎化対策に貢献できると書いてあるけど、ウォーキングトレイ1000mを造り地域の皆様に常時使用してもらおうと書いてあるけど、具体策は？”等、私の理解力の限界を超えているようです。

住民の皆さんも将来の八王子Jチームの応援団になっていただくであろう方達です。住民の皆さんも協会の皆さんもリスペクトしあって解決の方途を見つけてほしいと想っています。

明日、TVでこの件に関する番組の放送があると相田コーチから情報をいただきました。ぜひ、ご覧になってください。判断の参考になるとと思います。

< TBS > 噂の！東京マガジン 10月21日(日) 1:00pm-1:54pm

「噂の現場」住民激怒！森林を残土で埋めサッカー場建設

文責 矢上

秋期リーグ 少女

10月13日(土) 文化大グラウンド

めあて：1対1で負けない。

対戦相手：なかのサッカークラブ

前半1対0・後半2対0 3対0で勝ち。

得点者：片寄(優)さん3



点とりやの片寄(優)さんの活躍で着実に得点をかさねて勝利することができました。ただ、他の選手にも得点するチャンスがあったのにトラップミスやシュートを相手デフェンスにあてたりしたことが残念でした。

「1対1で負けない・失敗を恐れずにプレイしよう。」をめあてにしました。選手みんなはワンツールのパス、ドリブルとおりませ、くふうした攻撃をしていました。ただ、もっと特に中盤の選手がボールを持って、相手をドリブルでかわしてか

ら次ぎのプレイへつなげるともっとチャンスが生まれたと思います。

さて、この試合で目をひいたのはゴールキーパーの飯島さんでした。「前へ出てボールを処理するんだ」という気持ちが出ていて、ボックスの裏へ出たルーズボールへ積極的に飛び出し、対処していました。また、相手のクロスバー近くへのミドルシュートを(失点を覚悟しました。)みごと両手でゴール外へはじき、失点を防ぎました。ゴールキーパーは前へ出るタイミングが難しいですが、失敗を恐れずに前へ出てプレイして欲しいと思います。(ナイスキー！！)



めあて：1対1で負けない

対戦相手：愛宕フットボールクラブ

前半7対0・後半4対0 11対0で勝ち。

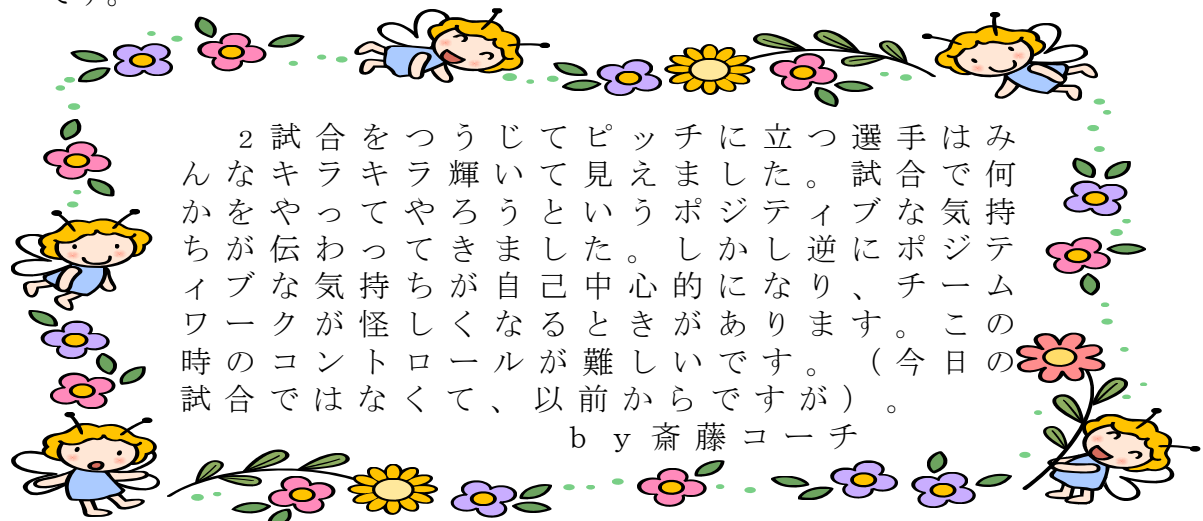
得点者：片寄(優)さん3 小沢(美さん)3 井上さん2 村田さん1

片寄(まさ)さん1 大塚さん1

めあては「1対1で負けない」をテーマに、ポジションも今までやったことのないポジションにチャレンジしよう。この試合はフォワード、中盤・デフェンスのグループで前半と後半でメンバーを入れ替えて試合に望みました。この試合で気になった選手(他の選手もがんばっていました)曾根さん(なかのSC戦でもサイドバックでがんばっていました。)、左サイドバックでかかんに前線に飛び出しゴールにせまりました。守りもねばりつよいプレッシャーで相手の攻撃を遅らせ、ボールを奪い味方の攻撃につないでいました。ゴール前で切り替えて右足でシュート、ドリブルでそのまま左足でシュート(いいじゃん！はずしても。)これを試合でチャレンジしてほしいです。(イメージ：日本代表：長友・鯨島だ)

右サイドバックの平山さんのコーナーキックの精度、平山さんのコーナーキックに村田さんがあわせて得点しました。コーナーキックで何度も精度のたかいボールをゴール前へけてチャンスをつくりました。また平山さんは右サイドをドリブルでかけ上がり、ゴール前へのクロスと積極的に攻撃参加をしていました。

後半、バックラインを矢久保さんと辻内さんにたくしました。期待どおり2人は無失点に押さえてくれました。守備で2対2・2対3という危険な場面が何度かありましたが、2人は冷静にカバーしあいながら1対1になってもあわてずシュートコースをつぶし、プレスをかけマイボールにして攻撃へつなげました。ナイスプレーです。



2試合をつうじてピッチに立つ選手はみんなキラキラ輝いて見えました。試合で何かをやってやろうというポジティブな気持ちが伝わってきました。しかし逆にポジティブな気持ちが自己中心的になり、チームワークが怪しくなることがあります。この時のコントロールが難しいです。(今日の試合ではなくて、以前からですが)。

by 斎藤コーチ